第8期、第1回
日時：2026年8月25日 ☐10:00～11:30、☐13:30～15:00、☑ 15:15 – 16:45　(90分)

講師名：　浜谷 千波　氏
ご所属：　アドソル日進株式会社

項目	内容
題目	AIの公平性
狙い（理解してほしいこと）	① 公平性の重要性や難しさについて、理解する ② 公平性実現のプロセスと手法について、ざっくりと理解する ③ 公平性具体事例について議論し、多様な視点から考える
概要	● AIの社会実装が進む中で重要性を増す「AIの公平性」について、基本的な考え方と近年の動向を紹介します。 ● 著名な事例を通じて、「何を公平とするのか」、不公平がどのような要因から生じるのか、評価の難しさを考えます。 ● 公平性に関する要求を開発目や評価指標へ落とし込み、データ・モデル・出力の各段階で対応していく基本的なプロセスと手法を概観します。 ● 具体的な事例を題材に、AIの公平性について多様な視点から考えるグループディスカッションを行います。
事前知識	特に無し

第8期、第2回
日時：2026年9月8日 ☑ 10:00～11:30、☐13:30～15:00、☐15:15 – 16:45　(90分)

講師名：　中島 震
ご所属：　国立情報学研究所

項目	内容
題目	信頼されるAIとプライバシー
狙い（理解してほしいこと）	機械学習ソフトウェアの品質マネジメントで中心的な役割を果たす「信頼されるAI」の考え方をベースとし、特徴的な品質観点である「情報プライバシー」と取扱いを知る。
概要	(1)倫理的なAI (2) AI関連法 (3) 情報プライバシー (4) データ加工と再特定 (5) 大規模言語モデル
事前知識	AIQMガイドラインの概要、 ソフトウェア工学と品質保証技術の基本（参考：中谷・中島「ソフトウェア工学」放送大学教育振興会）

第8期、第2回
日時: 2026年9月8日 ☐10:00～11:30、☑ 13:30～15:00、☐15:15 – 16:45　(90分)

講師名:　中島 震
ご所属:　国立情報学研究所

項目	内容
題目	生成AI利用とプロンプト
狙い（理解してほしいこと）	自然言語理解と生成の基盤モデルである大規模言語モデルの利用に関わるプロンプトの「意味」とは何か、また、生成AIと著作権の関係を理解する。
概要	(1) プロンプトと言語学 (2) 生成AIと著作物性 (3) グループワーク
事前知識	生成AI品質マネジメントガイドラインの概要

第8期、第2回
日時：2026年9月8日 ☐10:00～11:30、☐13:30～15:00、☑ 15:15 – 16:45　(90分)

講師名：三島 浩一
ご所属：DynamicRiskM.

項目	内容
題目	AI時代の攻守連動リスクマネジメント
狙い（理解してほしいこと）	・ AI活用を進めるうえで、機会と脅威の両面でリスクを扱う考え方を理解する ・ 公平性、安全性、セキュリティ等、多様なリスクを扱う共通的なノウハウを知る ・ AIリスクを構造的に捉える考え方を体験する
概要	・ AI時代に必要なリスクマネジメントの着眼点と方向性を解説します ・ リスクマネジメントの実践ノウハウと勘所を解説します ・ AIリスクの観点表を用いて、演習・討議を行います
事前知識	

第8期、第3回
日時：2026年9月29日 □10:00～11:30、☒13:30～15:00、□15:15 – 16:45　(90分)

講師名：　岡本 球夫
ご所属：　株式会社SHIN-JIGEN

項目	内容
題目	AI利用システムの開発における安全品質管理方法
狙い（理解してほしいこと）	基本的な「安全」の考え方と、安全におけるAIの役割と課題について学ぶ
概要	
事前知識	AIQMガイドラインの概要

第8期、第3回
日時：2026年9月29日 ☐10:00～11:30、☐13:30～15:00、☑15:15 – 16:45　(90分)

講師名：　難波 孝彰
ご所属：　産業技術総合研究所　インテリジェントプラットフォーム研究部門　招聘研究員

項目	内容
題目	AIモジュールの開発における安全品質管理方法
狙い（理解してほしいこと）	ガイドラインに基づくAIモジュールの安全品質管理の方法を具体的な事例を通して学ぶ
概要	(1)ガイドラインに基づくAIモジュールの安全品質管理方法（講義） (2)AI品質アセスメントシートの活用方法（講義） (3)各開発プロセスにおける品質特性（内部品質）の着目点 ・「データセット」に関する検討項目とそのポイント（演習） 「データセットの被覆性」「データセットの均一性」 「データの妥当性」「データセットの妥当性」 ・「学習モデル」に関する検討項目とそのポイント（演習） 「学習モデルの正確性」「学習モデルの安定性」「学習モデルの妥当性」 ・「運用・保守」に関する検討項目とそのポイント（演習） (4)グループ発表、質疑応答
事前知識	AIQMガイドラインの概要、第３回２コマ目「AIの安全性」

第8期、第4回
日時：2026年10月13日 ☑10:00～11:30、☐13:30～15:00、☐15:15 – 16:45　(90分)

講師名：杉山 阿聖
ご所属：Citadel AI

項目	内容
題目	AI の企業における実践
狙い（理解してほしいこと）	生成 AI や AI エージェントの活用や、AI セーフティや AI ガバナンスに必要となる基本的な考え方
概要	機械学習モデルや生成 AI を活用するための基本となる考え方について、アジャイルの源流 TPS から振り返って共有します。 その後、受講者と質疑を行い、具体的事例を元に疑問に対して答えます。
事前知識	・ソフトウェア開発に関する基礎的な知識 ・クラウドを利用するための基礎的な知識 ・プロジェクトマネジメント、プロダクトマネジメントに関する用語の理解 (PDCAサイクル、プロダクトマネージャー、など)

第8期、第4回
日時: 2026年10月13日 ☐10:00～11:30、☑ 13:30～15:00、☐15:15 – 16:45　(90分)

講師名：三宅 和公（みやけ かずまさ）
ご所属： 住友電気工業株式会社 DX技術研究所サイバーセキュリティ研究開発部セキュリティ基盤グループ

項目	内容
題目	AIセキュリティリスクアセスメント
狙い（理解してほしいこと）	参加企業様が自社内でセキュリティのリスク分析と対策立案（セキュリティリスクアセスメント）を実施できるようにする。
概要	(1)セキュリティリスクアセスメントの基礎 (2)AIセキュリティリスクアセスメント手法 (3)上記2点の参考情報
事前知識	AIが関係するセキュリティインシデントをひとつ挙げてみましょう。（事前宿題）

第8期、第4回
日時：2026年10月13日 □10:00～11:30、□ 13:30～15:00、☑ 15:15 – 16:45　(90分)

講師名：新原 敦介
ご所属：**日立製作所**

項目	内容
題目	AI品質保証規格・ガイドラインと日立製作所における AI品質保証への取組み
狙い（理解してほしいこと）	世界・日本のAI品質保証規格・ガイドラインと、日立製作所が機械学習品質マネジメントガイドラインなどを参考に整備してきた品質保証の制度をご紹介し、各社での品質保証の参考にしていただく。
概要	(1)日立におけるAI品質・AI倫理に関する取り組みの全体像 (2)国内外のAI品質保証規格・ガイドラインの概要
事前知識	機械学習品質マネジメントガイドライン第4版を一読していること